

電子情報ボード活用報告

－ 数学の授業において －

七ヶ浜町立七ヶ浜中学校 講師 奥村 智一

1. 実践授業の概要

1.1 七ヶ浜町立七ヶ浜中学校 H17年2月21日 1学年 数学

平面図形・空間図形 20時間

1.2 目的:電子情報ボード(SMART Board)の活用の仕方と効果的な活用のため

1.3 活用したコンテンツ

教育出版「すぐかけMATH Ver. 2 図形とグラフ

数学 図形編 作図・学習ソフト

東京書籍「中学校数学シミュレーション Ver. 2 1年」

「SMART Board software」

2. 実践でわかったこと

2.1 IT活用の効果について

- ・子供たちの興味を通常授業より高めることができる。
- ・図形の単元で活用したことで、黒板だけの授業にくらべて、動きも感じられ、さらに時間の短縮ができた。また、連続的に図形の特徴を見ることもできた。

2.2 実践した授業における狙いと評価

(1) 実践前の狙い

① 関心・意欲・態度 (◎) ② 思考・判断 (○) ③ 技能・表現 (○) ④ 知識・理解 (◎)

(2) 実践後の評価

① 関心・意欲・態度 (◎) ② 思考・判断 (○) ③ 技能・表現 (△) ④ 知識・理解 (○)

2.3 課題について

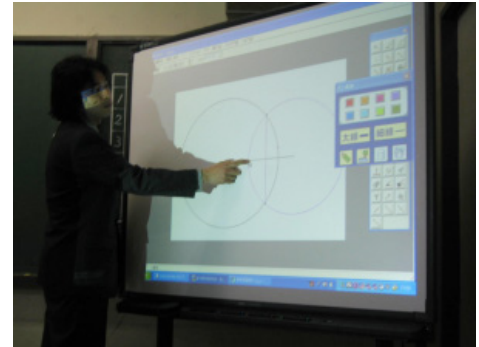
はじめ電子情報ボードを利用するにあたって、様々な授業形態が考えることができ、いろいろな可能性も感じた。が、実際に活用してみても、ただのスクリーンで終わってしまうことがありえる。3ヶ月活用してみても、感じたことは電子情報ボードを使ってどう授業をしていくかではなく、今までの教材と同じように授業にどう活用していくことが大事であるということを強く感じた。さらに、研究授業を行って、どの場面での活用が一番有効か、どう活用させていくかということが重点的に話合われた。

初めての活用では、子供たちの反応もとても大きく、内容よりもボード自体への興味・関心が強かった。私自身ものめざらさで、ボード中心の授業に陥っていた。が、慣れてくるにつれて、その授業のポイントだけでの活用の仕方や黒板との併用もできるようになってきた。とにかく使って見ることだと考える。

利用法に関しては、はじめは各教室へ移動させていたが、ボードの準備作業が非常に大変であったため、空き教室にPC・プロジェクター・電子情報ボードを固定する方法に切りかえた。準備時間は短縮できたが、教室割りでも優先的に利用できるようにしてもらおうなどの配慮も必要であった。

また、本校では投影式(フロント)のボードのため、準備作業やボードの配置にも気を配る必要もあり、生徒たちの活用にあっては、プロジェクターを動かしてしまったり、ボードに影が出るのが非常に気になった。

今後、教育的活用を普及させていくためには、モニター型を主流にすること。ボードの軽量化、低価格化、ソフトウェアと周辺機器の充実が必要であると感じる。



【動くことによって見える性質がある】



【黒板とe-黒板の併用が大切】